

令和3年度 事業報告書



社会福祉法人

素心会

## 目次

1	法人	1 P
2	素心学院	1 2 P
	障害者支援施設（生活介護・施設入所支援・短期入所）	
3	素心デイセンター	1 8 P
	生活介護	1 8 P
	就労継続支援B型	2 0 P
4	地域支援センターそしん	2 6 P
	共同生活援助	2 6 P
	相談支援	2 9 P
	児童発達支援	3 2 P
	放課後等デイサービス	3 3 P
	居宅介護・移動支援	3 5 P
	自立支援協議会	3 5 P
	生活介護	3 7 P

## 1 法人

### (1) 法人の主な活動状況

令和3年度は、前年に続き新型コロナウイルスの感染が世界中に蔓延し、医療のひっ迫をはじめ社会活動全般に多大な影響をもたらした。わが国においても感染が拡大し、令和3年4月から9月に渡り国の緊急事態宣言が各地域に発令された。さらに令和4年1月からは変異株による第6波が全国に広がり1日の感染者数が多い日で10万人を超え、かつてない感染爆発となった。

素心会では令和3年6月より新型コロナウイルスワクチンの集団接種を開始し、同8月までに希望者全員への2回接種が終了した。さらに令和4年1月からの第6波に対しては、同2月に3回目のワクチン接種を実施した。年間を通して通所利用者及び職員に若干の陽性者が発生したが、感染が拡大することはなかった。また、感染防止対策の徹底とワクチン接種により、わずかな期間ではあったが利用者の活動や交流、行事、外出等の制限を緩めることができた。正月には2年ぶりに入所利用者の帰宅も実現した。

収支状況は、新型コロナウイルスの影響や利用者の高齢化に伴う利用数の減少を厳しく見込み予算を立てていたが、通所事業の休業が無かったことなどから収支バランスの取れた結果となっている。

### (2) 実施事業

施設・事業所	種別	実施事業		
素心学院	第一種社会福祉事業	障害者支援施設	施設入所支援事業	
			生活介護事業	
	第二種社会福祉事業	障害福祉サービス事業	短期入所事業	
			地域生活支援事業（日中一時支援）	
素心デイセンター	第二種社会福祉事業	障害福祉サービス事業	生活介護事業	
			就労継続支援B型事業	
			地域生活支援事業（日中一時支援）	
地域支援センター そしん	第二種社会福祉事業	障害児通所事業	児童発達支援事業	
			放課後等デイサービス事業	
		障害福祉サービス事業	生活介護事業	
			居宅介護事業	
			共同生活援助事業（さざんかホーム）	
			地域生活支援事業（移動支援）	
	相談支援事業	児童相談支援事業		
		指定特定（計画）相談支援事業		
		大磯町基幹型相談支援事業		
		二宮町基幹型相談支援事業		
	市町村委託事業			大磯町障害支援区分認定調査事業
				二宮町障害支援区分認定調査事業
				二宮町・大磯町障害者自立支援協議会事務局

### (3) 理事会及び評議員会の状況

ア 理事、監事、評議員 令和4年3月31日現在

理事長	萩原 勝己	素心会統括管理室長
常務理事	高瀬 尚人	素心会法人事務局長
理事	米山 勝彦	(社福) 理事長
理事	小林 倫	(社福) 理事・施設長
理事	出縄 守英	(社福) 理事長
理事	大水 健晴	(社福) 理事長
監事	南山 利久	民生委員・児童委員
監事	永井 清光	(社福) 理事・施設長
評議員	坂田 泰二	会社代表取締役
評議員	土方 重治	会社役員
評議員	梓田 俊邦	(社福) 評議員
評議員	三箇 正子	元地域民生委員・児童委員並びに地域自立支援協議会会長
評議員	野谷 美恵子	前地域民生委員・児童委員会会長、現同委員
評議員	木内 健太郎	居宅介護支援事業所代表
評議員	島田 哲	(社福) センター長

イ 理事会の開催

第192回理事会 令和3年6月1日(火)

議案 第1号 令和2年度事業報告について

第2号 令和2年度計算書類及び財産目録の承認について

監事監査報告について

第3号 理事候補の選定について

第4号 監事候補の選定について

第5号 第46回評議員会の招集(日時、場所、議案等)について

第6号 評議員候補の選定について

第7号 評議員選任・解任委員会の招集(日時、場所、議案等)について

報告事項 ①新型コロナウイルスに関する対応経過について

②社会福祉充実残額について(令和2年度 残額無し)

③地域支援センターそしんに架かる橋梁の所有・管理について

④理事長及び常務理事の職務執行状況について

第193回理事会 令和3年6月19日(土)

議案 第1号 理事長の選任について

第2号 常務理事の選任について

第3号 評議員選任・解任委員の選任について

第194回理事会 令和3年11月24日(水)

議案 第1号 積立資産の積立について

第2号 令和3年度第一次補正予算について

- 第3号 利用者預り金等取扱規程の一部改正について
- 第4号 第47回評議員会の招集（日時、場所、議案等）について
- 報告事項 ①中期修繕計画の進捗状況について
- ②グループホームあり方検討会報告について
- ③理事長及び常務理事の職務執行状況について

第195回理事会 令和4年2月18日（金）

- 議案 第1号 令和4年度 環境省・省C02補助事業申請による障害者支援施設素心学院空調設備交換工事（産廃処分等を含む一式）に係る事業計画及び予算について
- 第2号 令和4年度 環境省・省C02補助事業申請による障害者支援施設素心学院空調設備交換工事（産廃処分等を含む一式）入札実施要領について

報告事項 ①新型コロナウイルスワクチン接種状況について

第196回理事会 令和4年3月11日（金）

- 議案 第1号 令和4年度事業計画について
- 第2号 令和4年度予算について
- 第3号 就業規則の一部改正について
- 第4号 非常勤職員就業規則の一部改正について
- 第5号 処遇改善規程の一部改正について
- 第6号 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- 第7号 役員賠償責任保険の更新について
- 第8号 第48回評議員会の招集（日時、場所、議案等）について

報告事項 ①利用者預り金に関する経過報告について

#### ウ 評議員会の開催

第46回評議員会 令和3年6月19日（土）

- 議案 第1号 令和2年度計算書類及び財産目録の承認について
- 第2号 理事の選任について
- 第3号 監事の選任について

報告事項 ①令和2年度事業報告について

- ②監事監査報告について
- ③社会福祉充実残額について（令和2年度 残額なし）
- ④新型コロナウイルスに関する対応経過について
- ⑤地域支援センターそしんに架かる橋梁の所有・管理について

第47回評議員会 令和3年12月3日（金）

報告事項 ①積立資産の積立について

- ②令和3年度第一次補正予算について
- ③利用者預り金等取扱規程の一部改正について
- ④中期修繕計画の進捗状況について
- ⑤グループホームあり方検討会報告について

第 48 回評議員会 令和 3 年 12 月 3 日（金）

- 報告事項
- ①令和 4 年度事業計画について
  - ②令和 4 年度予算について
  - ③就業規則の一部改正について
  - ④非常勤職員就業規則の一部改正について
  - ⑤処遇改善規程の一部改正について
  - ⑥育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
  - ⑦役員賠償責任保険の更新について
  - ⑧利用者預り金に関する経過報告について
  - ⑨令和 4 年度 環境省・省 CO2 補助事業申請による障害者支援施設素心学院空調設備交換工事（産廃処分等を含む一式）に関する経過報告について

エ 評議員選任・解任委員会の開催

第 2 回評議員選任・解任委員会 令和 3 年 6 月 15 日（火）

議案 第 1 号 評議員の選任について

#### （4） 監事監査

実施日 令和 3 年 5 月 15 日（土）

監事 古谷 俊幸  
南山 利久

監査事項 理事の業務の執行状況及び財産の状況

監査方法 書面監査

新型コロナウイルス感染拡大に伴う、神奈川県における「新型インフルエンザ等まん延重点措置」の適用及び神奈川県福祉子どもみらい局からの通知（書面・リモート等弾力的な監事監査の実施）を踏まえ、監事両名の同意のもと書面による監査とした。

監査手順 ①事務局より監事全員に、監事監査資料・意見質問票・書面による監事監査実施の同意書を送付。

②意見・質問について、監事間で電話による調整・事務局から各監事への電話による説明・意見交換等。

③事務局より各監事へ、意見・質問に対する説明・意見交換等の記録を文書で送付。

④監事より事務局へ、監事監査報告書を送付。

監査結果 ①事業報告は法令及び定款に従い法人の状況を正しく表示しているものと認めます。

②理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

③計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に処理、表示しているものと認めます。

監査講評 新型コロナウイルス感染症の発生という危機下において理事長、常務理事の指導、監督のもとに業務は良好に執行されていきました。特に危機管理上、必要な情報をきちんと関係者に知らせるということでは、役員に対する6回の新型コロナウイルスへの対応状況の通知は、素心会の状況を把握するのに非常に役に立ち高く評価するところです。同様に、職員への周知や感染症対策の実施そして県保健福祉事務所等関係機関との連携においても迅速な動きが見られたことは評価します。特に感染者の発生に係る対応は、迅速かつ適正であり、大きな混乱等が見られなかったことは日ごろの対応訓練が生きたのではと思います。

利用者の減少等による収入減に対し、国の補助金を利用するなど経理上の工夫が見られ繰越金が出たことはすばらしい成果でした。今後も補助金があると期待することなく引き続き効率的な事業運営の工夫を願います。

新型コロナウイルス感染症により職員は心休まる日はないと思われませんが、職員に対するメンタルヘルス対策や働き方改革による改正労働基準法の趣旨を踏まえた対策を講じることにより、休暇がきちんと取れる職場づくりに配慮願います。

従来から報告書は「わかりやすいこと」が必要と述べてきました。事業報告書は読みやすく内容も簡素に問題・課題も整理され引用データもしっかり記載されておりよくできています。また決算説明資料も大変わかりやすく作成されていました。

「新型コロナウイルスに関する対応経過」冊子は要領よくまとめられていました。具体には職員や保護者等への取り組み状況、通知、配布した資料を一つの冊子としてまとめられており一連のコロナ対応の現場での臨場感あるものとなっていました。今後もこのすばらしい冊子を是非、職員研修等に活用していただきたい。

冊子「65<sup>th</sup> Spring2020」は、社会福祉法人素心会65年の歴史や内容そして現在の状況を紹介したものでわかりやすく大変よくできていると思いました。素心会をより以上に知ってもらうため、関係機関や地元の皆様を含め多くの人目にとめてもらえれば反響があると思いますので活用方法を工夫してください。

研修報告書「Staff training Report 2020」は内容が充実していました。受講職員の研修内容がわかり、課題に対してどのように考えどのように行動したいのか等の具体的内容が把握でき、また管理監督者がどのような認識を持って行動すべきか等も理解できて大変わかりやすい報告書でした。今後は、この報告書を利用して職員全員が内容を把握し、問題意識をもって研修成果を共有していくことを期待します。

新型コロナウイルス感染症の拡大という今までなかった危機に対し、理事長以下職員全員が全力で対応し尽力したことに対し高く評価するところです。この状況は当分続くと考えられます。今後も引き続き一歩進んだ対応を期待します。

(5) 県許認可・指導事務等

ア 定款変更認可

なし

イ 指導監査

なし

(6) 登記事項

ア 役員に関する事項

令和3年7月1日登記 理事長 萩原勝己 重任 令和3年6月19日

イ 資産総額の変更

令和3年6月23日登記 令和3年3月31日 変更 1,855,077,024円

(令和2年3月31日 変更 1,852,737,217円)

(平成31年3月31日 変更 1,826,635,370円)

(7) 新型コロナウイルスに関する対応経過

別紙「新型コロナウイルスに関する対応経過（令和3年度まとめ）」のとおり



(8) 重点事項への取り組み

重点課題	実施（完了）事項	継続 終了	
人材確保・育成、組織風土づくり	①看護師等の増員及び稼働率に応じた職員採用 ②社会状況、法人使命、各拠点の連携等を共有する研修の実施 ③キャリアパス基準の運用	①看護師（常勤）1、作業療法士（常勤）1、理学療法士（非常勤）1 臨床心理士（非常勤）1を採用 生活支援員等の採用は、例年以上に応募者が少なく、進まなかった。 ②委託業者による各事業の評価⇒報告書（別添）⇒職員による意見交換 ③期待要件をもとにした所属長と各職員との面談及び行動宣言の作成について開始	継続 継続 継続
資金・財務	①稼働率の確保	入所事業における新規利用者の受け入れ及び地域生活支援拠点事業について継続	継続
土地・建物・設備等	①修繕及び業務等省力化計画の実行 ②地域支援センターそしん東側入り口橋梁の調査 ③素心会有縁の霊墓地の取り扱いについて整理	①素心学院厨房機器の更新工事を実施、素心学院空調設備交換工事に着手 ②拡張・改修工事に係る設計と工事見積もりを実施、令和4年度着工予定 ③次年度に継続	継続 継続 継続
サービスの質	①新型コロナウイルス感染防止対策の継続 ②地域生活支援拠点の実施 ③放課後等デイサービスにおける、目的、基本的な取組等の再構築と共有 ④就労継続支援B型事業パン作業の地域販売等積極的展開	①「新型コロナウイルス対応」（別冊）の改訂、ワクチンの集団接種を実施（令和3年6月～8月、令和4年2月） ②次年度に継続 ③次年度に継続 ④次年度に継続	継続 継続 継続 継続
ガバナンス、情報、ネットワーク	①理事会等における横断的かつ時宜にかなった情報共有の工夫 ②各事業における障害者支援・マネジメントを通じた大磯町・二宮町への積極的な協力	①新型コロナウイルス感染防止等対応状況の報告、利用者預り金帳簿の改ざん等に関する状況報告、中間報告等 ②神奈川県警察署協議会委員、こども子育て会議委員、地域ケア会議委員、要保護児童対策協議会委員等への職員を派遣。	継続 継続
社会福祉充実計画への取り組み（具体的な地域貢献事業への取り組み）	非該当	継続	

(9) 委員会活動状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、会議や研修会の開催に影響を受けた。

名称	開催数	主な活動状況																														
防災対策委員会 (消防法令他)	4	BCP（災害時事業継続計画）及びBCP別冊の検証・更新を進めている。 本年度はライフライン確保マニュアルの検証を中心に、防災用備蓄品リストの確認、不足品等の補充を実施した。																														
衛生委員会 (労働安全衛生法、就業規則、衛生委員会規則)	会議 1 回覧 2	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で定期健康診断、AED 研修会は予定したものの実施に至らなかった。</p> <p>1 労災について 報告は1件（トランポリンで利用者見守り中、落下し左肘骨折 全治3か月）</p> <p>2 過重労働について（月45時間以上） 報告は1件（夏休み期間中本人了解のもとやむを得ず勤務）</p> <p>3 各事業所巡回報告（働きやすい職場環境づくり） 特に報告なし</p> <p>4 健康管理について（健康診断、メンタルヘルス、腰痛 等）</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の影響で定期健康診断は3回予定したものの実施に至らなかった。</p> <p>②平成28年度からメンタルヘルス対策の一環として義務付けとなった「ストレスチェック」を全職員対象に実施した。 対象者 152人 回答者 142人 回答率 93.4%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高い</td> <td>12.0%</td> <td>15.0%</td> <td>8.9%</td> <td>14.5%</td> </tr> <tr> <td>やや高い</td> <td>26.1%</td> <td>21.8%</td> <td>21.5%</td> <td>17.4%</td> </tr> <tr> <td>中程度</td> <td>31.0%</td> <td>28.6%</td> <td>32.6%</td> <td>34.1%</td> </tr> <tr> <td>低い</td> <td>26.8%</td> <td>27.1%</td> <td>32.6%</td> <td>29.7%</td> </tr> <tr> <td>評価不能</td> <td>4.2%</td> <td>7.5%</td> <td>4.4%</td> <td>4.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>③感染防止対策上、理学療法士による腰痛体操は実施できなかった。</p> <p>5 その他</p> <p>①新型コロナウイルスの影響で委員会の開催は1回、その他定期的 に開催することはできず、月次の議題内容に沿って各事業所と連絡を取りながら議事録を供覧する形で情報の共有を図った。</p> <p>②新型コロナウイルス対策については、法人の「新型コロナウイルス対応マニュアル」に基づき、各事業所感染防止に努めた。 ワクチン接種については、7・8月に2回目、2月に3回目の接種を完了した。</p> <p>③（社福）福利厚生センター「ソウェルクラブ」に法人負担で全職員（150人）加入し、福利厚生の充実を図った。</p>		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	高い	12.0%	15.0%	8.9%	14.5%	やや高い	26.1%	21.8%	21.5%	17.4%	中程度	31.0%	28.6%	32.6%	34.1%	低い	26.8%	27.1%	32.6%	29.7%	評価不能	4.2%	7.5%	4.4%	4.3%
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																												
高い	12.0%	15.0%	8.9%	14.5%																												
やや高い	26.1%	21.8%	21.5%	17.4%																												
中程度	31.0%	28.6%	32.6%	34.1%																												
低い	26.8%	27.1%	32.6%	29.7%																												
評価不能	4.2%	7.5%	4.4%	4.3%																												

<p>研修委員会 (障害者総合支援法・事業等の人員、設備及び運営に関する基準・素心会研修規則)</p>	<p>4</p>	<p>1 職員の資質、専門性の向上を図るため、研修規則・研修要項に基づき次の研修を実施した。</p> <p>2 当年度の研修</p> <p>(1) 基礎研修</p> <table border="1" data-bbox="639 383 1455 875"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知的障害の特性と知的障害福祉の歴史</td> <td>令和3年7月16日</td> </tr> <tr> <td>倫理・人権</td> <td>令和3年10月8日</td> </tr> <tr> <td>感染症とてんかん</td> <td>令和3年11月5日</td> </tr> <tr> <td>自閉症</td> <td>令和4年1月12日</td> </tr> <tr> <td>記録・接遇</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>介護技術</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>ダウン症・高齢化</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>リスクマネジメント</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>制度</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 伴走研修 対象 新人常勤職員(3人) 担当 研修委員会</p> <table border="1" data-bbox="639 972 1455 1167"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>働いてみて気づいたこと</td> <td>令和3年7月13日</td> </tr> <tr> <td>共有・共同・仲間の重要性</td> <td>令和3年9月27日</td> </tr> <tr> <td>仕事力</td> <td>令和4年3月24日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 実践研修 中止</p> <p>(4) 基幹研修</p> <p>①第三者による素心会の見学とヒアリング 実施日 令和3年9月28日 10月5日 実施者 特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター 内 容 別添「社会福祉法人素心会见学・ヒアリングによる報告書」のとおり</p> <p>②「見学・ヒアリング報告書」による意見交換 実施日 令和4年3月29日 対 象 課長・主幹等 常勤職員17人 内 容 別添「～10年後を見据えた基盤づくり～社会福祉法人素心会见学・ヒアリング報告書による意見交換会」のとおり</p> <p>(5) 外部研修 施設・事業所ごとに実施。実績は各事業所の報告にて。</p>	内容	実施日	知的障害の特性と知的障害福祉の歴史	令和3年7月16日	倫理・人権	令和3年10月8日	感染症とてんかん	令和3年11月5日	自閉症	令和4年1月12日	記録・接遇	中止	介護技術	中止	ダウン症・高齢化	中止	リスクマネジメント	中止	制度	中止	内容	実施日	働いてみて気づいたこと	令和3年7月13日	共有・共同・仲間の重要性	令和3年9月27日	仕事力	令和4年3月24日
内容	実施日																													
知的障害の特性と知的障害福祉の歴史	令和3年7月16日																													
倫理・人権	令和3年10月8日																													
感染症とてんかん	令和3年11月5日																													
自閉症	令和4年1月12日																													
記録・接遇	中止																													
介護技術	中止																													
ダウン症・高齢化	中止																													
リスクマネジメント	中止																													
制度	中止																													
内容	実施日																													
働いてみて気づいたこと	令和3年7月13日																													
共有・共同・仲間の重要性	令和3年9月27日																													
仕事力	令和4年3月24日																													

<p>安全推進委員会 (障害者総合支援法・事業等の人員、設備及び運営に関する基準・素心会利用者の安全に関する規則)</p>	<p>3</p>	<p>1 利用者の転倒・転落・傷害・誤嚥飲・器物破損・加害行為・交通事故・行方不明等、事故の予防ならびに円滑かつ的確な事後処理を目的に活動しており、「ヒヤリ・ハット報告書」「事故報告書」等の作成・集計・分析を通し、情報を職員間で共有・注意喚起し、事故の再発防止に努めている。</p> <p>2 各種法人行事におけるリスクマネジメントの実施</p> <p>3 事故報告集計資料の様式見直しおよび作成・報告 事故件数 学院10件 デイセンター6件 支援センター4件 計20件</p> <p>4 日本知的障害者施設協会「リスクマネージャー養成研修」への職員派遣（ZOOM開催）</p> <p>5 「ヒヤリ・ハット報告書」の集計・対応 報告件数 学院5件 デイセンター13件 支援センター0件 計18件</p> <p>6 見守りカメラ（学院）・ドライブレコーダー事故記録映像の検証</p>
<p>相互けん制委員会 (障害者総合支援法・障害者虐待防止法・事業等の人員、設備及び運営に関する基準)</p>	<p>3</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、次の通り可能な範囲の活動となった。</p> <p>1 職員行動規範の徹底と新規項目の検討 啓発ポスターの作成（毎月）</p> <p>2 法令順守と安全推進強化月間の取り組み 啓発ポスターの作成 各職員会議において呼びかけ</p> <p>3 「他人事で済ませてはいけない過ち」の改定作業</p> <p>4 虐待報道の共有</p>
<p>広報委員会</p>	<p>4</p>	<p>素心会が運営する事業全体に関する情報について、関係者・関係各機関をはじめ広く社会全般に提供し、障害者と福祉現場への理解と協力を求めることを目的に活動した。</p> <p>1 広報誌「そしん」編集、発行 69号 令和3年7月発行（900部・カラー4ページ） 70号 令和3年12月発行（900部・カラー6ページ）</p> <p>2 素心会ホームページ ・トピックスの随時更新</p> <p>素心学院懐石料理ランチデイ・寿司ランチデイ・クリスマス会のお知らせ。神奈川県共同募金会様よりいただいた業務用全自動洗濯脱水機の助成金のお礼。素心学院空調設備交換工事に係る公告と結果について。大磯町建築課と合同で行った環境整備の報告など。</p>

給食委員会	4	<p>1 検討事項</p> <p>委託業者である(株)一富士と素心会とで、各拠点における利用者状況を踏まえ次の検討を実施した。</p> <p>①献立について</p> <p>②行事食の内容・実施方法について</p> <p>③刻み、アレルギー等食事の提供形態について</p> <p>④新型コロナウイルス感染防止対応について</p> <p>⑤衛星対応について</p> <p>⑥嗜好調査について</p> <p>⑦その他</p>
-------	---	---

(10) その他

- ・過去の利用者預り金帳簿の改ざんについて（別冊「利用者預り金に関する経過報告」のとおり）
 

令和3年8月27日に、平成27年から平成30年にかけて利用者の預り金帳簿が改ざんされ、現金が横領されたと思われる箇所が見つかった。詳細な調査を進めるとともに、素心会監事及び神奈川県障害サービス課事業支援グループ及び施設福祉グループに報告する。

調査結果による全容をもとに、神奈川県及び顧問弁護士に相談し利用者への返金、関係職員への事情聴取等対応した。

## 2 素心学院

### (1) 概要

2021年度（令和3年度）も前年度に引き続き、利用者・職員の安全安心を最優先に、新型コロナウイルス感染症対策に重点をおいた一年になった。4月下旬からのまん延防止等重点措置に続き、8月の緊急事態宣言発令が9月末まで解除されず、長期間にわたり、施設内にて不自由な生活を余儀なくされたが、幸いにして現場職員の尽力で、利用者に罹患者は発生せず、制限下ではあったものの、全員無事日常を送ることができた。また全国的に感染者が減少した年末年始には二年ぶりの帰宅期間を設定することができた。

一方今年度も利用者の加齢・基礎疾患に伴う長期入院者・転院退所者の増加がさらに一層著しく、疾病による入院者・通院者・退所者対応に苦慮することとなった。疾病にともなう逝去者、疾病に伴う退所者が5名となり、3名（男性2名女性1名）の新規入所者があったものの、定員充足にはいたらなかった。

### (2) 出身地別入所状況（令和4年3月31日 現在）

県 域	横 浜	川 崎	東京 他	計
58人	4人	3人	3人	68人

### (3) 年齢構成（令和4年3月31日 現在）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	1	1	1	10	9	13	5	1	41
女	0	1	2	8	4	6	5	1	27
計	1	2	3	18	13	19	10	2	68

平均年齢 57.0歳

### (4) 入退所状況

退所者	市町村	退所日	退所理由
57歳 男性	座間市	9月17日	転院
72歳 女性	横浜市港北区	9月22日	転院
73歳 女性	さいたま市南区	2月 9日	転院
70歳 女性	山北町	2月11日	蘇生後脳症のため逝去
52歳 男性	大和市	3月 7日	転院

入所者	市町村	入所日	入所以前の所在
18歳 男性	二宮町	4月 1日	在宅
54歳 女性	横浜市泉区	7月 1日	病院
52歳 男性	大和市	12月 1日	障害者支援施設

(5) 健康管理

2021年度（令和3年度）は新型コロナウイルス感染防止対応のため集団検診は未実施  
毎月看護師が体重・血圧測定を実施、また各寮にて毎日定時に検温・血中酸素飽和度測定を実施した

(6) 主な入院

入院者	入院期間	疾病・治療内容	医療機関
S. T	R3. 1. 22～9. 17 R3. 9. 17～	肺炎・肝硬変 転院・退所	東海大学大磯病院 平塚十全病院
W. Y	R3. 3. 2～7. 12 R3. 7. 25～8. 17 R3. 8. 31～9. 22 R3. 9. 22～	誤嚥性肺炎 肺炎・敗血症 肺炎 転院・退所	西湘病院 平塚共済病院 平塚共済病院 高根台病院
I. A	R3. 3. 20～4. 27 R4. 3. 8～3. 15	肺炎・敗血症 肺炎	東海大学大磯病院 平塚市民病院
H. M	R3. 10. 22～12. 20	イレウス	東海大学大磯病院
K. I	R3. 12. 1～R4. 1. 18 R4. 1. 18～	脳内出血 転院	東海大学伊勢原病院 伊勢原協同病院
O. T	R3. 12. 14～R4. 2. 9 R4. 2. 9～	肺炎 転院・退所	東海大学大磯病院 林病院（埼玉県）
T. Y	R3. 12. 24～R4. 1. 7	低カリウム	東海大学大磯病院
K. M	R4. 1. 1～3. 7 R4. 3. 7～	肺炎 転院・退所	東海大学大磯病院 高根台病院
M. T	R4. 2. 10～2. 11	蘇生後脳症（逝去）	東海大学大磯病院
M. N	R4. 2. 14～3. 1	左大腿骨頸部骨折	済生会湘南平塚病院

(7) 日中活動の状況（新型コロナウイルス感染症対策のためグループ再編し寮別にて実施）

ア 活動種目

鈴の組立・ピーナッツの殻むき・木工・海岸清掃・施設内清掃・音楽・運動・レクリエーション・機能低下防止・法人墓地清掃

イ 作業奨励金

毎月一律千円を支給した

ウ クラブ活動

月二回、「絵画クラブ」を設定し寮別にて絵画作成を実施した

エ スポーツ活動

サッカー・ソフトボール・バレーボールを若年層向けに寮別にて実施した

(8) 防災訓練

新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず

(9) ボランティア

新型コロナウイルス感染症対策のため施設への入館制限実施

(10) 月別利用実績数

施設入所 (定員 75 人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
4	330	341	330	341	341	330	341	330	336	331	308	341	4,000
5	420	434	420	403	403	390	403	390	402	399	346	341	4,751
6	1,301	1,364	1,320	1,390	1,441	1,380	1,395	1,350	1,375	1,339	1,218	1,389	16,334
合計	2,051	2,139	2,070	2,103	2,185	2,100	2,139	2,070	2,113	2,069	1,872	2,071	25,085

稼働率 91.6%

生活介護 (定員 75 人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
3	0	0	7	20	17	20	21	20	18	19	18	22	182
4	242	253	242	253	253	242	253	242	253	253	220	253	2,959
5	325	339	329	299	299	286	298	286	299	299	248	253	3,560
6	1,020	1,066	1,032	1,140	1,135	1,092	1,137	1,070	1,098	1,072	940	1,119	12,925
合計	1,587	1,658	1,610	1,716	1,704	1,640	1,709	1,618	1,668	1,643	1,426	1,647	19,626

稼働率 97.3%

(11) 短期入所実績 (定員 5 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3人
女	3	5	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25人
計	3	5	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28日

稼働率 1.5%



(12) 行事等

新型コロナウイルス感染症対策のため、原則外部行事の参加および保護者会開催について見合わせた

月	学院	地域行事	保護者会	帰宅・帰院
4	1日新年度			
5				
6	10日コロナウイルスワクチン接種 (65歳以上1回目)			
7	1日コロナウイルスワクチン接種 (65歳以上2回目) 15日コロナウイルスワクチン接種 (65歳以下1回目) 21日ランチデイ			
8	5日コロナウイルスワクチン接種 (65歳以下2回目)			16日～27日 面会期間 (窓越しにて)
9	24日夕涼み会			
10	29日秋の芸術祭			
11	26日ランチデイ 30日インフルエンザ予防接種			
12	14日クリスマス会 16日大掃除 17日もちつき			30日帰宅日
1				3日帰院日
2	10日コロナウイルスワクチン接種 (3回目)			
3				

(13) 職員研修

新型コロナウイルス感染症対策のため原則外部研修の職員派遣は中止した

実施日	場所	参加者	内容
6月22日	平塚市商工会議所	長谷川	サービス管理責任者更新研修
6月16日 7月14日 9月15日 10月13日 11月17日 2月16日 3月16日	素心学院会議室	高橋笑	高齢者支援セミナー (ZOOM開催)
9月17日	素心デイセンター	植木	メンタルヘルス研修会 (ZOOM開催)
10月7日 10月8日 11月16日 11月17日 1月18日 1月19日	素心学院会議室	川崎 川崎 天野 天野 小川 小川	神奈川県強度行動障害支援者養成研修(実践) (ZOOM開催)
10月21日 10月26日 10月28日	素心学院会議室 素心学院地域交流室	丹・堀野・植木・岩園 穂谷野	神奈川県知的障害施設団体連合会新任職員人権研修 (動画視聴)
10月21日 12月13日 2月18日	素心学院会議室	高橋篤	支援スタッフ部会 (ZOOM開催)
11月4日 11月25日 12月16日	素心学院会議室	丹・堀野・植木・岩園 穂谷野	障害福祉施設協議会新任職員研修会 (動画視聴)
11月28日 12月11日	昭和大学	丹・堀野	喀痰吸引等第3号研修
12月17日	平塚保健福祉事務所	石森	感染症予防研修

(14) 重点事項への取り組みについて

新型コロナウイルス感染症対策のため原則各委員会・会議等は延期とした

重点事項（計画）	取り組み内容	評価・課題	継続・終了
新型コロナウイルス感染防止対策の継続	感染症マニュアルの見直しを実施した。また感染症対策期間の備品購入について、計画的に実施し、不足品が無いように管理を徹底した。（ジアイーノの増設・抗原検査キット配布）	今年度、季節性インフルエンザの罹患者をゼロにすることができたが、さらなる拡充（備品・対応等）が必要である。また利用者に新型コロナウイルス感染者は発生しなかった。	継続
地域生活支援拠点事業の実施	生活支援拠点事業の緊急短期を推進するための手続きを委員会組織を立ち上げ検討をはじめた。	新型コロナウイルス感染症対策のため会議開催等ふくめ現実的な成果は得られていない。引き続き具現化を目指して検討が必要。	継続
医療的ケアの継続	事業所内2名の女性利用者に胃ろうを実施した。また認定特定行為業務従事者研修に職員を派遣、資格取得者を増員した。	指導看護師の増員・安全委員会の設置・手技確認・研修への職員派遣等、定型が確立された。	終了 実施は継続

### 3 素心デイセンター

#### (1) 生活介護事業

##### ア 概要

新型コロナウイルスの感染拡大により、日中活動、年間行事、送迎、稼働率など多岐にわたり影響を受けた。稼働率は平均約 83.7%であった。感染が拡大した 2 月は 80.8%、3 月は 82.1%となった。日中活動では、班ごとの小規模なイベント（ペットボトルを使用したボーリング大会、グラウンドの芝生での輪投げ、ボール入れなどのゲームやボッチャ大会）や七夕、ハロウィンの飾りつけ、絵馬づくり、餅つき大会、成人を祝う会は感染防止対策を行った上で実施したが、グループ外出、1泊旅行、バーベキュー大会、秋のレクリエーションなどの各種行事は中止となった。近隣の公園への歩行活動は一部再開したが密にならないように少人数での参加となった。防災訓練は集合場所を数か所に分けるなど工夫して火災避難訓練 1 回・震災訓練 1 回・火災通報訓練 2 回計 4 回実施した。

生活介護全利用者の活動として、グラウンドにビオラ、パンジーなどを植えたプランター 200 鉢を設置して水やり・植え替え・プランターの移動などを行った。また生活 1 班（重度障害者支援）では、グラウンド歩行、身体機能維持訓練を昨年と同様に行い、生活 2 班では絵画、機織り、陶芸、紙漉きなどを製作して、外部の展覧会に出展もした。生活 3 班では自立課題・昼食時に使用するエプロンなどの洗濯作業・機織りを行なった。

昨年度、生活介護の新規利用者は 2 名であり、退所された利用者は 1 名であった。

##### イ 月別利用者状況 <定員 45 人>

令和 4 年 3 月 31 日現在

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総計
3	65	58	63	39	36	41	42	39	42	39	36	44	544
4	125	104	121	161	132	141	153	152	167	139	133	158	1686
5	411	357	369	365	334	375	334	344	357	334	314	384	4278
6	261	243	253	237	208	235	287	276	298	227	208	264	2997
計	862	762	806	802	710	792	816	811	864	739	691	850	9505

\*新規通所者・・・2人 \*退所者・・・3人（学院入所2人）

年平均稼働率83.7%

##### ウ 市町村別利用者数

令和4年3月31日現在

	大磯町	二宮町	平塚市	茅ヶ崎市	小田原市	寒川町	熱海市	計
男	11	5	13	3	3	1	1	37 人
女	2	4	6	0	0	0	0	12 人
計	13	9	19	3	3	1	1	49 人

## エ 年齢構成

令和4年3月31日現在

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
男	0	4	17	13	1	2	37人
女	1	2	2	7	0	0	12人
計	1	6	19	20	1	2	49人

平均年齢 37.8歳

## オ 送迎サービス利用状況

令和4年3月31日現在

コース名	車 輛	コース	乗車人数
大磯平塚コース	ワゴン車	日向岡＝高村団地＝山下団地＝西小磯	6人
大磯二宮コース	ワゴン車	赤坂台＝保線区＝中里＝橘	4人
大磯コース	ワゴン車	白岩神社＝西小磯	2人
二宮コース	マイクロバス	山西＝押切＝小船＝百合ヶ丘＝石神台	7人
平塚コース	マイクロバス	平塚駅南口＝袖が浜＝大磯駅	13人
金目コース	マイクロバス	明石町＝追分＝岡崎＝広川	12人
合 計			44人

※感染症防止対策のために茅ヶ崎方面などに別便を出すことがあった。

## カ 健康管理

項 目	実施日	検診内容	被検査者	実施機関
総合健康診断	中止			
歯科検診	中止			
インフルエンザ	12月7日	(希望者のみ1回接種)	34人	寒川病院
腫瘍マーカー	中止			
新型コロナウイルスワクチン	7月15日	希望者のみ1回目接種	44人	八重咲診療所
新型コロナウイルスワクチン	8月5日	希望者のみ2回目接種	43人	八重咲診療所
新型コロナウイルスワクチン	2月10日	希望者のみ3回目接種	42人	八重咲診療所

\* 日常の健康チェックは看護師が毎月体重及び血圧の測定を実施し各家庭に報告をした。

## キ 日中活動の状況

### ①活動種目

牛乳パックの手漉き紙製品の製作、機織り、花壇の整備、事業所間文書配達、ペットボトルラベルはがし、芸術活動、自立課題

### ②作業奨励金

毎月一律千円を支給した。

### ③運動

近隣公園への歩行及びグラウンド歩行。

### ④クラブ活動

内 容	備 考
絵画クラブ（第1・3・5月曜日午後）	クラブは、他の活動と平行して実施した。 講師または担当職員を中心に行った。 利用者の参加は希望制。
書道クラブ（第2または4月曜日午後）	
音楽Aクラブ（第2・4火曜日午後）	
パーカッションクラブ（毎週水曜日午後）	
陶芸クラブ（毎週木曜日午前）	
音楽Bクラブ（第3金曜日午後）	

※緊急事態宣言発令期間中は全て中止とした。

### ⑤レクリエーション

外出・・・中止。

行事・・・中止。

## (2) 就労継続支援B型事業

### ア 概要

昨年、パン工房を素心学院からデイセンターに移転した。新たなパン窯の導入により量産ができ月曜日から金曜日の毎日販売ができるようになった。チーズ食パン・あん食パン・ピザパン・ちくわパン・ワッフル・クッキーなど看板商品の開発も積極的に行った。だが新型コロナウイルスの感染拡大により、日中活動、年間行事、パンの外販などに影響が及んだ。大磯町役場の福祉ショップ「あおぼと」での販売は一年間のうち販売できたのは7か月であった。二宮町町民センターのともしびショップ「なのはな」での販売や、虫窪地区文化祭・石神台マルシェ・横溝記念まつりへの出店は実施できていない。洗濯作業も実施しているものの従来行っていた素心学院の各寮の居室への返却は感染症防止対策で行ってはいない。

昨年度の新規利用者は1名で退所した利用者は3名であった。稼働率は平均約91.3%であった。

## イ 月別利用者状況 &lt;定員15人&gt;

令和4年3月31日現在

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
延べ利用者数	309	271	290	264	243	292	305	305	318	279	258	320	3454

年平均稼働率91.3%

## ウ 市町村別利用者数

令和4年3月31日現在

	大磯町	二宮町	平塚市	茅ヶ崎市	相模原市	計
男	4	3	2	2	1	12人
女	1	1	1	0	0	3人
計	5	4	3	2	1	15人

## エ 年齢構成

令和4年3月31日現在

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
男	0	1	4	1	4	2	12人
女	0	2	0	1	0	0	3人
計	0	3	4	2	4	2	15人

平均年齢 42.3歳

## オ 送迎サービス利用状況

令和4年3月31日 現在

コース名	車輛	コース	乗車数
平塚コース	マイクロバス	大磯=平塚駅=虹ヶ浜	6人
二宮コース	マイクロバス	山西=押切=小船=百合ヶ丘=石神台	3人
大平コース	ワゴン車	日向岡=山下団地=西小磯=つばきホーム	1人
合 計			10人

※感染症防止対策のために茅ヶ崎方面などに別便を出すことがあった。

カ 健康管理

項目	実施日	検診内容	被検査者	実施機関
総合健康診断	中止			
歯科検診	中止			
インフルエンザ	12月7日	(希望者のみ1回接種)	14人	寒川病院
腫瘍マーカー	中止			
新型コロナウイルスワクチン	7月15日	希望者のみ1回目接種	13人	八重咲診療所
新型コロナウイルスワクチン	8月5日	希望者のみ2回目接種	13人	八重咲診療所
新型コロナウイルスワクチン	2月10日	希望者のみ3回目接種	14人	八重咲診療所

\* 日常の健康チェックは看護師が毎月体重及び血圧の測定を実施し各家庭に報告をした。

キ 日中活動の状況

①作業種目

作業内容	作業工賃
パン作業	688,700 円
洗濯作業	842,250 円
リサイクル作業	19,140 円
年間合計	1,550,090 円

\* 平均作業工賃 一人 8143.3 円/月

②レクリエーション

外出・・・中止。

行事・・・中止。

(3) 日中一時支援事業

感染症防止対策のために実施していない。



(4) 生活介護事業・就労継続支援B型事業共通事項

感染症防止対策のために以下のように見直した。

ア 行事等

月	デイセンター	保護者との関係
4		
5	平塚事業所合同説明会 中止 健康診断 中止 歯科検診 中止 実習生 13日 (生活介護)	個別面談 (電話により実施)
6	実習生 7日～18日 (就労B)	個別面談 (電話により実施)
7	七夕飾り 7月2日～7月9日	個別面談 (電話により実施)
8	納涼祭 中止 夏期休暇 14日～18日	
9	1泊旅行 中止	
10	1泊旅行 中止 秋のレクリエーション 中止 ハロウィン (玄関装飾・ゲーム) 20日～31日 実習生 4日～8日 (生活介護・就労B) 実習生 28日～29日 (生活介護)	
11	1泊旅行 中止 実習生 15日～19日 (生活介護) 実習生 15日～26日 (就労B)	
12	冬期休暇 31日～3日	
1	絵馬作り (玄関展示) 5日～14日 実習生 17日～21日 (生活介・就労B)	
2		
3	お雛様作り (玄関展示) 2月21日～3月4日	

イ 職員研修

外部研修

実施日	場所	参加者	研修内容
10月13日 11月1日 12月16日 2月1日	素心デイセンター (ZOOMにて受講)	壺井	令和3年度強度行動障害対策研修実践力養成コース「フレームワーク連続講座」
10月29日	厚木商工会議所	小清水	令和3年度神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修
12月9日	平塚商工会議所	小野田	令和3年度神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修
2月3日 2月4日	素心デイセンター (ZOOMにて受講)	松井	令和3年度リスクマネージャー養成研修課(追加開催)(オンライン学習)
3月10日	素心デイセンター (ZOOMにて受講)	宝利	令和3年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修(S10コース)

\* 法人内研修

基礎研修、基幹研修、伴走研修を実施

ウ 防災訓練

実施日	訓練内容
5月5日	火災を想定した避難訓練
10月12日	地震を想定した避難訓練
10月21日	火災を想定した避難訓練と通報訓練
12月24日	火災を想定した避難訓練と通報訓練

(5) 重点事項への取り組み

重点事項（計画）	取り組み内容	評価・課題	継続・終了
<p>稼働率のアップ</p> <p>a 新規利用者の積極的な受け入れ</p> <p>b 福祉事業所合同説明会への参加</p> <p>c 養護学校実習生の受け入れ</p>	<p>a、c 実習や見学など感染症防止対策を徹底させて行った。</p> <p>b 事業所説明会は中止となった。</p>	<p>生活介護2名、就労継続支援B型1名新規利用者を受け入れた。</p>	<p>継続する。</p>
<p>グラウンドの有効活用</p> <p>a 園芸活動の充実</p> <p>b イベント等の積極的な利用</p> <p>c 利用者の作業としての活用</p>	<p>a プランター200鉢を設置して利用者の作業として活用した。</p> <p>b 小規模人数でのゲームやお茶会などは行ったが年間計画に掲げていたイベントは中止となった。</p> <p>c 芝刈りや除草などを行った。</p>	<p>プランター200鉢を活用した園芸作業は活性化につながったが、まだ検討する余地はあり、より充足感に満ちた活動にする必要がある。</p>	<p>継続する。</p>
<p>就労継続支援B型事業</p> <p>a パン作業の充実</p> <p>b パン作業の販路拡大と看板商品の開発</p> <p>c 工賃アップ</p>	<p>a パン作業は新しい釜の導入により増産体制を取ることができた。</p> <p>b あん食パン・チーズ食パンの他ちくわパンなどの新しい総菜パンの開発を試みた。感染症防止対策の影響があり販路拡大はできていない。</p> <p>c 販路拡大ができなかったこともあり工賃のアップはできなかった。</p>	<p>感染症防止対策の影響を考慮した上で販路を拡大する方法を模索する必要がある。</p>	<p>継続する。</p>
<p>生活介護事業</p> <p>a 日中活動の充実</p> <p>b 自閉症支援の検討と実践</p>	<p>a、b グラウンドにプランター200鉢を設置して利用者の作業として活用した。</p>	<p>プランター200鉢を活用した園芸作業は活性化につながったが、まだ検討する余地はある。自閉症支援に関しては生産的な作業種の模索が必要である。</p>	<p>継続する。</p>

## 4 地域支援センターそしん

### (1) 共同生活援助（さざんかホーム）

#### ア 概要

令和2年度に引き続き感染拡大防止対応において、生活の場であるがゆえに通所・通勤・介護施設のデイサービス利用など多方面にさまざまな手段で往来している状況を考え法人の資源に束ねる枠組みの中での安心が得られるように働きかけ実施してきた。

昭和56年から平成元年までに整備された当時のホーム利用者像は一般企業等に就労し生活面においても比較的自立度の高い人たちだったが、それから40年近くの時間が経過し、利用者の高齢化による病弱者、重度者の増加が顕著である。障害福祉サービスでは重度者の暮らす場として入所施設があるが、65歳以上の者や2号保険該当者については介護保険サービスへの移行を優先にという市町村の意向が強まっている。つまり本人の状態像や介助度、支援体制とすり合わせたサービス利用からはどんどん遠くなっている現状がある。また、障害福祉サービスにおける住所地特例が介護保険では不適用となることとも関係し、入所施設へも介護保険施設へも移動しにくい状況をも生みだしている。これは、利用者本人にとっても支援者にとっても安心・安全からは孤立し心身ともに居場所を失っていくことになる。ホーム利用者の高齢化、重度化は進み続けており感染予防・対応に追われた一年ではあったが、回避的・予防的処置に偏る消極的な対応ばかりではなく、就労メンバーの慰労のミニバーベキューやハロウィン・クリスマスでの職員仮装訪問などささやかな楽しみを模索する足跡を残そうとした一年でもあった。

#### そのような中、令和3年度も以下の対応を重点的に行った

##### ①利用者の高齢化・重度化に伴う環境整備及び支援体制について

- ・2階居室から1階居室への移動　　<歩行困難者への見守り及び移動支援の強化>
- ・支援センターにおける入浴サービス
- ・腎臓病食・カロリー制限食・ペースト食・アレルギー除去食への対応
- ・看護師によるインスリン自己注射支援
- ・新型コロナウイルス等感染防止の強化（罹患者はなし）＊通所先の一本化（法人内）

##### ②防災対策

- ・消防法改正への対応
- ・防災備蓄品リストの見直し・更新
- ・専門業者による消防設備点検

##### ③ホームスタッフの確保・育成、職員研修体制の確立

- ・ホームページ、広告等による積極的な募集（効果は得られていない）
- ・報告・連絡・相談の徹底（引き継ぎ文書にて）スタッフ会議は実施できなかった。

##### ④建物の老朽化改善について

- ・疾病・高齢者・重度者への対応、65歳問題等中期計画において根本的な方向性の確認、早急な整備を実現する
- ・想定される災害時のリスク回避（現状における手当て）
- ・グループホームのあり方検討プロジェクトにおいても話し合っていく

イ 月別利用実績（定員 29 人 現員 24 人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
2	60	62	60	62	62	60	31	30	31	31	28	31	548
3	147	152	142	155	122	149	155	150	152	182	173	186	1,835
4	150	151	150	124	116	120	124	120	122	87	88	93	1,445
5	150	155	120	124	124	150	124	120	62	61	89	93	1,372
6	231	214	270	310	334	300	341	330	403	403	344	372	3,852
計	738	734	742	775	758	749	775	750	770	764	722	775	9,054

稼働率 85.5%

ウ 出身別利用者状況

県域（政令市を除く）	横浜市	川崎市	東京都	計
18人	1人	1人	4人	24人

エ 年齢構成

	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	0人	5人	2人	5人	6人	0人	18人
女	0人	2人	1人	0人	2人	1人	6人

平均年齢 65歳

オ 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0人	1人	5人	2人	1人	9人	18人
女	0人	0人	1人	1人	2人	2人	6人

介護保険認定受給者 2名 （要介護2 要介護3）

カ 健康

毎月の体重測定、毎日の検温、血圧測定・パルスオキシメーターによる酸素飽和度の測定も実施し、疾患の早期発見、早期治療、重症化防止に努めている。新型コロナウイルス等感染症予防対策の徹底により1年間を通して罹患者は出さずに過ごすことができた。手指消毒・除菌水・マスク・空気清浄機はもちろん食席も対面にならぬよう距離をおく、時間をずらすなど継続的に行っている。ゴーグル・シールド・ガウン・手袋等は常備し、体調管理チェックシートの実施など管理体制も徹底している。また、就労等で外との接触が多い利用者については定期的にPCR検査を実施している。通院については、それぞれの主治医と受診方法や頻度を決めている。健康診断については、感染症の関係から設定が難しく実施できていない。インフルエンザの予防接種、新型コロナのワクチン接種（3回目を2月10日に）については全員終了している。

キ 就労等の状況

令和3年3月31日現在

NO	性	年	事業所名	内容	NO	性	年	事業所名	内容
1	男	70	素心デイセンター	洗濯・畑他	14	男	54	プラスモア・素心デイ	洗濯・畑他
2	男	76	地域支援センターそしん	創作活動等	15	男	43	大磯エコセンター	不燃物処理
3	男	77	地域支援センターそしん	創作活動等	16	男	50	素心デイセンター	洗濯
4	男	57	柳川乳業	配送仕分	17	男	64	素心デイセンター	洗濯
5	男	77	素心学院	環境整備	18	男	70	悠悠苑	高齢デイ
6	男	51	素心デイセンター	洗濯等	19	女	59	素心学院	環境整備
7	男	76	素心学院	外注作業	20	女	87	さざれ石ケアセンター	高齢デイ
8	男	73	地域支援センターそしん	創作活動等	21	女	48	素心デイセンター	パン・洗濯
9	男	74	地域支援センターそしん	創作活動等	22	女	72	地域支援センターそしん	洗濯作業
10	男	51	㈱第一三共ハピネス	商品梱包	23	女	47	素心学院	創作活動等
11	男	62	素心学院	外注作業	24	女	72	地域支援センターそしん	創作活動等
12	男	62	素心学院	外注作業					
13	男	51	リネックス(有)	不燃物処理					

ク 入院状況

性別	年齢	期間	病名	入院先
男	77	令和3年12月27日 ～令和4年1月18日	糖尿病の悪化 大腸がんの精査	東海大大磯病院

ケ 入退所状況

入退所者なし

コ 避難訓練

新型コロナウイルス感染症の関係よりグループホームにおける訓練・防災行政無線による訓練はできず各ホームにて防災備品・備蓄食料のチェック・補充を行い、緊急連絡・指示マニュアルの確認を行った。

サ 重点事項への取り組み

重点事項（計画）	取り組み内容	評価・課題	継続・終了
新規利用者の受け入れ	関係機関より情報収集	在籍利用者の状況・住環境を総合的に判断し欠員の補充には至っていない	継続
ホームスタッフの確保・育成	求人広告等での募集 生活支援員・世話人の研修	世話人の高齢化もあり採用するも退職数に追い付かない 研修は実施できず書面にて啓発	継続
利用者の高齢・重度化に伴う環境整備等および支援体制について	ADL に応じ住空間の設定 福祉用具の導入（低床ベッド） 離床センサー・ナースコール等の設置 緊急連絡マニュアルの整備	今できる最大の配慮・手立ては行っている。（緊急度の優先順位において療養型への移行を進めることや介護認定の相談・依頼を行う）	継続
新型コロナウイルス感染症拡大防止対応の徹底	感染予防マニュアルに基づき適切な対応の徹底 必要なPCR検査での精査	環境設定、衛生用品の充足、予防対応・手技の確立・徹底 （罹患者は出ていない）	継続

(2) 相談支援

ア 概要

相談支援事業は、引き続き大磯町基幹相談支援事業、二宮町基幹相談支援事業の受託と障害児者の特定相談支援、サービス等利用計画・障害支援区分認定調査を実施した。新型コロナウイルス感染拡大予防に際し、相談支援の実施の手法や情報の取り扱いなど顔のみえる距離でのコーディネートが難しい状況が続いた。止まることのない、そして更に牽引して起こるニーズに対し相談支援体制を引き続き模索した一年でもあった。

相談件数の増大、相談内容の複雑化の中で相談員数、対応時間、対応方法、社会資源の不足感は継続的に高まっている。地域に特定相談支援事業所が増えたものの、この状況下において地域事情の共有、制度における共通認識等の確認の場を持つ機会も遠のき、基幹相談支援センターとしてのコントロールタワーの役割は十分果たすことができない状況を前に課題の山積であった。ネットワーク形成もオンラインに留まり、共感や共有がしづらいなどタイムリーな支援につながりにくく課題が浮き彫りになったことも事実である。クライアントの発信と受け手の相談支援者のキャッチに差異が生じやすくニーズに対する具体的支援が叶わない場面も多くみられた。

このことに我々は引き続き量的、質的な対応力を高められるよう根本的な地域の相談支援体制の在り方、調整・連携について大磯町・二宮町の両町とともに継続的に検討する場をもっている。

イ 相談件数

		実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
大磯町	障害者	401	82	5	194	93	46	9	7
	障害児	113	8	2	69	11	49	3	4
	合計	514	90	7	263	104	95	12	11
二宮町	障害者	388	86	7	182	85	53	8	2
	障害児	121	12	4	69	5	51	3	4
	合計	509	98	11	251	90	104	11	6
総計		1,023	188	18	514	194	199	23	17

ウ 支援内容

	福祉サービスの利用等	障害や病状の理解に関する	健康・医療に関する	不安の解消・情緒安定	保育・教育に関する	家族関係人間関係に関する	家計・経済に関する	生活技術に関する	就労に関する
大磯町	1909	371	437	748	493	406	119	71	295
二宮町	1862	423	498	781	491	373	138	49	296
合計	3,771	794	935	1,529	984	779	257	120	591

	社会参加	権利擁護	その他	合計
大磯町	101	62	47	5059
二宮町	159	78	36	5184
合計	260	140	83	10,243

前年度合計 10,235

エ 支援方法

	訪問	来所	同行	電話	メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
大磯町	312	191	92	3893	86	208	249	28	5,059
二宮町	311	196	98	4002	91	247	223	16	5,184
合計	623	387	190	7,895	177	455	472	44	10,243

オ サービス等利用計画・障害支援区分認定調査

	計画数	モニタリング数	児童	計画数	モニタリング数
大磯町	105件	154件	大磯町	65件	64件
二宮町	115件	145件	二宮町	63件	63件
その他	3件	10件	その他	1件	0件
計	223件	239件	計	129件	127件
前年計	214件	309件	前年計	112件	100件



カ 障害支援区分認定調査

障害支援区分認定			
大磯町	59 件	二宮町	64 件
前年度	大磯町 33 件	二宮町	38 件

キ 関係機関との会議

地域自立支援協議会	圏域自立支援協議会	相談支援ネットワーク
精神保健ネットワーク会議	難病・特定疾患ケース検討会	重心関係機関連絡会
就労支援ネットワーク	職業リハビリテーション会議	母子保健メンタルヘルス会議
児童相談所連絡会議	特別支援教育連絡会議	教育委員会連携会議
要保護児童ケース会議	小児在宅ケア連絡会	小児神経学ケース会議
進路開拓会議	児童養護施設関係者会議	児童精神医学研究会
高次脳機能障害研究会	生活保護ケース検討会	神奈川県公安委員会警察署協議会
高齢・障害連携会議	地域リハビリテーション会議	地域コンサルテーション

\*新型コロナウイルス感染症対策 外部会議は縮小もしくは中止、リモートとなった

ク 重点事項への取り組み<相談>

重点事項（計画）	取り組み内容	評価・課題	継続・終了
今後の地域における相談支援体制に関する検討	事例検討および関係者での情報共有の機会を定期的に設け両町担当者との会議も継続的に行う	定期的な意見交換や情報共有の機会是有効であり、課題については解決に向けシステムの構築等につながっている	継続
有資格者の確保および育成	実務経験等該当する人材については研修を受講 現従事者については更新の手続きを確実にを行う	研修・更新手続きについては滞りなく行っているが新たに相談に従事する専門員の確保には至っていない	継続

### (3) 児童発達支援（未就学）

#### ア 概要

令和2年度とは違い感染対策における自粛休園児童の数は少なかったが、併用している保育園や幼稚園の休園や兄弟姉妹の学校の閉鎖状況に応じ利用の見合わせをお願いしたケースも多くみられた。マスクを着用できない子供も多く、また障害特性においてマンツーマン対応・密着が避けられない子供がほとんどであることから繰り返し体調管理、不良の際には（家族や周辺状況含め）発信を継続的にお願いしてきた1年であった。

感覚（触れる・咬む・舐める・嗅ぐなど）としての拘りへの統合教育においては、感染予防対策をとりながらの活動となり非常にリスクが高いが早期療育の柱として機を逃すわけにはいかず慎重に実施している。

交流保育やプール活動も引き続き見送っているが、公園やつどいの場への外出は頻度を減らしつつも状況をリサーチしたうえで行っている。イベント（夏祭りや運動会等）は保護者を含め外部の方には遠慮いただき遊戯室で実施、後日動画を編集しDVD・写真等で成長を伝えている。

作業療法士の常勤配置により個別療育において、子ども本人への発達支援はもとより家族支援・地域支援そして職員集団もスキルを身に付けていく機会となっている。また、不定期ではあるが心理職の導入もあり連動して療育体制を整備し情緒の安定を図る個別支援計画の作成・実施については、保護者や関係者から一定の成果・評価がいただけた。

#### イ 月別利用者状況 <定員10人>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
185	169	200	177	170	196	192	184	194	179	145	196	2,187

稼働率 91%

#### ウ 住所別延べ利用実績(年)

大磯町	二宮町	平塚市	合計
848	1339	0	2,187

#### エ 年齢別延べ利用実績(年)

	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	合計
男子	0	0	527	368	678	1573
女子	0	0	380	200	34	614
合計	0	0	907	568	712	2,187

オ 障害別状況

A 1	A 2	B 1	B 2	精神	身体	重心	未取得	合計
0	224	375	423	0	123	0	1042	2,187

カ 重点事項への取り組み <児童発達>

重点事項（計画）	取り組み内容	評価・課題	継続・終了
給食サービスの実施	平成31年4月より提供	幼児食としての確立・嗜好調査の未実施に課題が残る アレルギー対応・提供形態の個別対応への協力が得られた（給食委員会で依頼）	継続
感染症拡大防止の徹底	感染症マニュアルに従い適切な予防対応の実施	環境設定・衛生用品の充足、家庭・関係機関と連絡を密に体調管理・予防策の徹底	継続

(4) 放課後等デイサービス（小学1年から高校3年）

ア 概要

令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防における学校の対応はさまざま（閉鎖の基準・日数、濃厚接触者の扱い方等）休校や授業短縮の連絡も直前にならないと入らず見通しのつかないことが多くあった。高齢者や障害者のワクチン接種が進む中、学齢期の子どもたちを対象とする接種に議論が停滞、実施に対しての保護者の考えも様々で未接種がほとんどである。サービスを他事業所と併用している児童においては、罹患状況がタイムリーに入らず危険予測がしづらい状況でもあった。適切に感染を恐れる必要性を児童本人には特性に合わせ伝え方を工夫し、家族も含め繰り返しインフォメーションしてきている。

感染防止を徹底する中でも生活力に加えそれを駆使して楽しめる力を育てていく目標を見失わないように心掛けた。生きた教材がある地域のなかで実践を通じ学ぶことに制約はあったが設定活動に重点を置いて取り組んだ。しかし放課後等デイサービスのあり方が問われる中、アセスメント・課題抽出・プログラムの構築など取りこぼしたことも多かったように感じる。

家族支援においては、面談の機会は少なかったが、連絡の取り方を工夫し取り組んだ。発達課題の多い激動の思春期の子どもや要保護のケースなど関係機関とも連携し進めている。

地域支援はインクルージョン推進の観点からも単なる情報共有にとどまることなくつながって活動していくことを意識した。医療的ケア児や重度重複・強度行動障害児童には、看護師・作業療法士・理学療法士・臨床心理士の支援や助言を得ながら療育的アプローチを行ってきている。

イ 月別利用者状況 <定員20人>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
370	345	388	349	328	389	367	370	383	361	314	392	4,356

稼働率90%

ウ 住所別延べ利用実績(年)

大磯町	二宮町	中井町	秦野市	平塚市	横浜市	合計
2,362	1,868	0	82	44	0	4,356

エ 年齢別延べ利用実績(年)

	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	合計	合計	
男子	601	204	84	506	0	226	1621	4,356	
女子	131	84	211	387	0	92	905		
合計	732	288	295	893	0	318	2,526		
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	合計		
男子	183	24	208	74	128	608	1,225		
女子	61	122	0	251	72	99	605		
合計	244	146	208	325	200	707	1,830		

オ 障害別状況

A1	A2	B1	B2	精神	身体	重心	合計
505	853	1526	991	210	372	147	4,604

※障害状況について

児童通所(児童発達支援・放課後等デイサービス)の障害状況は、四肢体幹機能不全、難治性てんかん、慢性肺疾患、低酸素脳症、白血病、視覚障害、聴覚障害、股関節変形症、レット症候群、水頭症、福山型筋ジストロフィー、プラダウィリー症候群、口蓋裂、双体性輸血症候群、脳腫瘍、心疾患(完全第血管転位・大動脈弁閉鎖不全)などの重複がある。

カ 重点事項への取り組み <放課後等デイサービス>

重点事項(計画)	取り組み内容	評価・課題	継続・終了
放課後デイのあり方研究 ソーシャルスキルトレーニングの実施	役割意識やルール、約束などの決まり事を小集団でのグループワークにて行った	プログラムとしての積み上げに至らず断続的实施となったため根本的かつ計画的に継続をしていく	継続
感染症拡大防止の徹底	感染症マニュアルに従い適切な予防対応の実施	環境設定・衛生用品の充足、家庭・関係機関と連絡を密に体調管理・予防策の徹底	継続

(5) 居宅介護・移動支援

ア 概要

居宅介護事業の利用については、利用実績はない。

移動支援事業については新型コロナウイルス感染拡大防止により、余暇支援や社会参加の機会としての利用希望には応えることができなかった1年だった。サービス提供はグループホームの方々を中心に機能低下防止・健康維持の観点から散歩や周辺地域の散策に留め、自粛による体力気力の低下の弊害を克服すべく繰り返し支援の時間を重ねた。利用者にとっては楽しみ・特別感につながらず不消化な気持ちは否めないが体を整え、次につながることを期待しながら引き続き歩みを続けた1年だった。もう一方の課題である職員の増員については、苦戦が続いておりニーズに応えていくには、マンパワーの確保・育成・定着は慢性的な課題である。

イ 移動支援利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用 件数	144	145	138	141	135	138	147	140	129	124	127	132	1,640
利用 時間	613	616	607	616	600	619	632	626	600	580	598	620	7,327

前年度 1,811件 7,246時間

ウ 重点事項への取り組み <居宅介護・移動支援>

重点事項（計画）	取り組み内容	評価・課題	継続・終了
職員の確保・育成に努めサービス提供体制を拡充・強化する業務マニュアルの作成	職員については、有資格者・経験者の求人を募る。サービス提供における配慮事項等(情報共有ベース)をマニュアル化する	マンツーマンの事業であるためニーズに応えきれず育成にもつながっていない  情報カードは作成済み	継続
感染症拡大防止の徹底	感染症マニュアルに従い適切な予防対応の実施	環境設定・衛生用品の充足、家庭・関係機関と連絡を密に体調管理・予防策の徹底	継続

(6) 自立支援協議会

ア 概要

引き続き二宮町・大磯町障害者自立支援協議会事務局を受託した。令和2年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から協議会・部会ともに対面での会議を避け、事務局からの議案書を基にした書面開催が主であった。例年、両町の障害福祉計画を基に地域のニーズについて幅広い立場の関係者及び当事者と意見交換を図る目的で第三回部会は両町別の拡大部会として開催しており、大磯町拡大部会は対面による会議型式で11月に開催したが、それ以外の協議会と部会は全て書面による開催となった。また、年間活動計画では相談支援の展開を視野

に入れた事例検討会と知的障害の特性に対して理解を促進する内容の研修会の開催を予定していたが、いずれも感染症流行拡大時期と重なったため中止となった。

新型コロナウイルス感染症は終息の兆しのない中、社会全体に未曾有の事態を引き起こしているが、地域内の各福祉事業所、関係機関においても運営上の様々な影響を与えている。こうした課題や不安についてもそれぞれの立場から書面等にて報告を受け、取りまとめ共有を図っている。

#### イ 協議会の開催と内容

	日時	内容
第1回（書面開催）	令和3年7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長・副会長の選任</li> <li>・令和2年度活動報告(案)について</li> </ul>
第2回	令和3年3月	新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受け中止。

#### ウ 研修会・勉強会

	日時	内容
第1回		事例検討会。（新型コロナウイルス感染症流行拡大の状況を受け中止）
第2回		「知的障害の特性について」新型コロナウイルス感染症流行拡大の状況を受け中止

#### エ 部会の開催と内容

開催日	場所	内容
第1回部会 令和3年7月7日	二宮町役場 第一会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度活動報告について</li> <li>・令和3年度活動計画について</li> <li>・各事業所・機関からの報告</li> <li>・その他</li> </ul> 委員5名 事務局9名
第2回部会 令和2年8月		新型コロナウイルス感染症流行拡大を受け中止。
第3回部会 （二宮町拡大部会） 令和3年11月26日	二宮町役場 議場第一会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉計画と地域ニーズについて</li> </ul> 委員8名 事務局5名
第3回部会 （大磯町拡大部会） 令和3年12月9日	大磯町横溝千鶴子記念障害福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉計画と地域ニーズについて</li> </ul> 委員8名 事務局5名
第4回部会 令和3年3月		新型コロナウイルス感染症流行拡大を受け中止。

(7) 生活介護

ア 概要

対象が高齢知的障害者や重症心身障害者であるため感染リスク・感染における重度化が心配される状況に常に怯えてきているが令和3年度も罹患者を出すことなく、大きな事故もなく過ごすことができています。少しの体調の変化も見逃さず、罹患の周辺状況を収集し必要に応じて利用を控えていただくこともあった。入浴・排泄・食事等ほぼ全てにおいて密接な介助が必要な利用者や家族のセーフティーネットとしての使命もあり、考え得る限り、できる限りの感染防止策を講じ支援を継続した1年だった。ワクチン接種は、3回目を2月10日に全員が終了しており副反応は一部の利用者にみられたが大事には至らず、何より当支援センターで実施できたことの安心感をどの保護者も伝えてきている。

年間予定にも掲げた個別外出、一泊旅行、バーベキュー等については中止せざる得ず、制限を強いる中、楽しみを奪うことにもなってしまった。そこで室内でのイベントに切り替え季節を感じられるものを取り入れたり、役割やつながりを感じられる活動を進めている。また、感覚に働きかける刺激を活用した関わり（香り・光・映像・音楽・温冷感等）で自己表現の手立てを模索している。新規利用者も入り着実に実績を重ねているところではあるが、意思決定支援・機能の維持・補完楽しみの創出など小さな気づきを形にする支援にはまだ時間がかかっている。

理学療法士によるポジショニングや機能低下防止活動の実施、環境設定への助言を得ながら利用者・支援者ともに活動の目的や意味を問い続けている。

イ 月別利用者状況 <定員20人>

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	50	37	22	20	21	0	0	0	0	0	0	0	150
6	260	217	286	256	279	282	297	275	306	272	258	297	3,285
計	310	254	308	276	300	282	297	275	306	272	258	297	3,435

稼働率70%

ウ 市町村別利用者数

	大磯町	二宮町	平塚市	茅ヶ崎市	伊勢原市	小田原市	湯河原町	その他	計
男	1	4	0	0	0	2	0	2	9人
女	2	3	0	0	0	3	0	2	10人
計	3	7	0	0	0	5	0	4	19人

エ 年齢構成

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
男	0	2	3	0	0	4	9人
女	1	6	1	0	0	2	10人
計	1	8	4	0	0	6	19人

オ 障害者支援区分

支援区分	3	4	5	6
契約利用者数	0	0	0	19

カ 送迎サービス利用状況

令和3年3月31日現在

コース名	車 輛	コース	乗車人数
A コース	リフト付ワゴン車	西小磯＝国府本郷＝富士見ヶ丘	5人
B コース	リフト付ワゴン車	石神台＝国府本郷＝国府新宿	4人
C コース	リフト付ワゴン車	中里団地	1人
D コース	リフト付ワゴン車	山西	2人
E コース	リフト付ワゴン車	国府新宿＝石神台	2人
家庭送迎			5人
合計			19人

キ 健康管理

健康診断・腫瘍マーカーは新型コロナウイルス感染症拡大防止により未実施  
 日常の健康チェックは支援員が毎日定時にて体温・血圧・SpO2の測定を実施し、各家庭  
 看護師・課長に報告、共有をしている。また月初に体重測定を行っている。

ク 日中活動の状況

- 園芸・・・支援センターを花で満たすためのプランター・花壇作りとその手入れ。
- 陶芸・・・食器や装飾品の製作。
- 創作・・・年中行事に関連した飾り作り、刺繍、編み物、絵画、紙漉き。
- 運動・・・毎週火・木曜日の午前、遊戯室にて実施。内容はラジオ体操、トランポリンやバ  
 ランスボールを使用したエクササイズ、マット運動、ボーリング、玉入れなど  
 個別対応にて介助歩行、階段の昇り降り、マッサージやストレッチを実施。
- 音楽・・・鑑賞・楽器演奏・リズム遊び・合唱・ゲームレクリエーション
- 清掃・・・毎週金曜日の午後に活動室内の掃除機かけ、台拭き、手すり磨き、モップがけ

ケ 作業奨励金

毎月一律千円を支給した。

コ 入浴

福祉用具や手動式入浴リフトを使用した個浴と介護浴槽による入浴の実施。ケガ等により入浴  
 制限のある方のシャワー浴や清拭も必要に応じて行なった。月曜日から金曜日まで毎日午前と午  
 後に分けて、1日平均6名が入浴。定期利用されている方は12名。

医療的ケアや処置のある方については、入浴場面に看護師を配置し実施している。

グループホームにおいて入浴が困難となった利用者については、状態に合わせた形態で実施。



サ レクリエーション

- 運動レク・・・ 天気の良い日は外に飛び出し公園などの散歩を楽しむ。
- アニマルセラピー・・・ 動物とのふれあい・ドッグランの見学
- 調理実習・・・ 記念日にケーキを作り食す(デコレートし自分たちで作る楽しさを味わう)
- 外出・・・ 散策等を実施。(個別・グループ外出はできなかった)

シ 行事・・・ クリスマス・餅つきなどを実施。誕生日の祝いも行う(成人式は中止)

ス 保護者との関係

- \*個別面談は書面にて実施
- \*保護者懇談会・給食試食会は検討するも未実施

セ 重点事項への取り組み <居宅介護・移動支援>

重点事項(計画)	取り組み内容	評価・課題	継続・終了
給食サービスの実施	安全で安心な食事提供 楽しみを感じる食事	配慮食としての確立・嗜好調査の未実施に課題が残る	継続
感染症拡大防止の徹底	感染症マニュアルに従い 適切な予防対応の実施	環境設定・衛生用品の充足、家庭・ 関係機関と連絡を密に体調管理・予 防策の徹底	継続

(8) 職員研修

日時	場所	参加者	内容
令和3年 6/22 6/23 10/28 12/9 12/10	平塚市商工会議所 厚木市商工会議所	鈴木綾 高山 大野 山口 枇杷橋 小幡	サービス管理責任者更新研修
令和3年7月5.6日	レンブラントホテル海老名	西垣	甲種防火管理者新規講習
令和3年7月9月計5日間	藤沢合同庁舎・平塚市商工会議所	池村	相談支援従事者初任者研修
令和3年9月7日	神奈川県社会福祉センター	池田	サービス管理責任者初任者研修
令和3年11/5 11/24 11/25	神奈川県総合医療会館	坂本	障害支援区分認定調査員研修
令和3年11月20日	神奈川県総合医療会館	二宮	重度重複障害児者支援看護師研修
令和3年10月11月5日間	ココテラス湘南	鈴木綾	主任相談支援専門員研修

\*法人内研修 <基礎研修・基幹研修・主幹課長研修>

(9) 地域への協力（会議室・遊戯室・カフェの貸し出し）

利用団体	利用日	内容	場所	利用人数
二宮農園プロジェクト (二宮農園・子ども農園)	2回/月 日曜日	自然栽培	駐車場	15～20人/ 回（車8台）
グリーンエネルギー湘南（太陽光）	不定期	会議・活動	カフェ 駐車場	15人/回

\*びあの会・みんなのカフェ・認知症カフェについては中止